

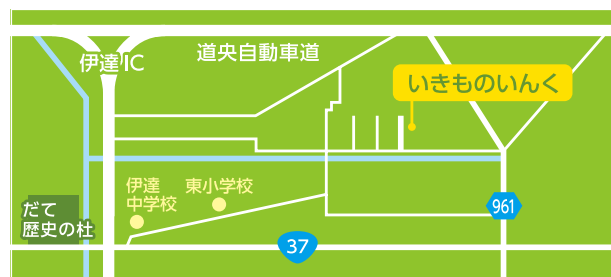


ごあいさつ

NPO 法人 いきものいんく代表
加藤 康大

小さなプレハブでたった1人、なんとなくスタートしたいきものいんくですが、あっという間にもうすぐ6年。気がつけば社員が数名いて、事務所が少し大きくなり、受け入れる野生児の数もずいぶん増えていました。でも、いきものいんくが大きくなろうと小さくなろうと、そんなことはどうでもいいと思っています。子どもたちが本気で遊び、また、野生動物についてしっかりと学び、考えることのできる環境を提供し続ける、ということが一番大切です。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

NPO 法人 いきものいんく 2017年度 活動の記録



NPO 法人 いきものいんく

〒052-0005 北海道伊達市清住町47-1

TEL/FAX 0142-82-7757

URL www.ikimonoinc.jp / MAIL info@ikimonoinc.jp

Facebookにて「いきものいんく」で検索してください。

いきものいんく公式LINE @sna9114c

【協賛企業・団体・個人のみなさま】

株式会社 大矢 オオヤミート 様
有限会社 佐藤青果 様
有限会社 田淵自動車興業 様
株式会社 社匠建設 様
イオン株式会社 様
LOVETOYA 実行委員会 様
トーヤヨガ日和 様
子育てサポート SAMAYOKA 様
橋本 久仁彦 様 (伊達市)
橋本 真由美 様 (伊達市)
篠原 道 様 (室蘭市)
富田 かおり 様 (伊達市)
中野 すみ子 様 (横浜市)
杉山 節子 様 (小樽市)
吉田 梯子 様 (札幌市)
武川 直恵 様 (洞爺湖町)
磯貝 弘美 様 (札幌市)
磯貝 洋子 様 (札幌市)
西陰 慧 様 (室蘭市)
矢黒 三代 様 (室蘭市)
山本 勲 様 (札幌市)
菅原 香織 様 (室蘭市)

【カメラマンの皆さま】

井上 大介 様 (室蘭市)
高島 大貴 様 (伊達市)
奈良 公美 様 (伊達市)
星野 麻美 様 (東京都)
クスマエリカ 様 (札幌市)



この活動記録は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて発行しています。



春の生きもののさがし

全4回 (4/29・5/3) 参加野生児119名 (幼児～大人)

新年度一発目の恒例行事、「春の生きもののさがし」。今年も洞爺湖畔にある月浦森林公園へ行きました。カエルやヘビ、ザリガニにサンショウウオ…。冬眠から目をさました生きものたちが、ひっそりと、でも確実に、春を迎えている様子を見ることができました。まだ4月なのに、池に飛び込む子どもたちも!



かくれ湖ハイキングツアー

全2回 (5/7・5/13) 参加野生児56名 (小学1年生～大人)

カルルス温泉から林道を歩くこと1時間。静かで美しい支笏洞爺国立公園の秘湖“橘湖(たちばなこ)”。ここはヒグマも生息するエリアで、野生動物の痕跡をたくさん見ることができます。晴天の1回目に対し、2回目は湖にずっと霧がかかっていて、それはそれでとても幻想的な光景でした。



気ままに野生児ツアー

全4回 (6/11・6/17・6/24・7/1)
参加野生児61名 (小学3年生～中学生)

どこへ行き何をするのか当日集合するまで分からない、「気ままに野生児ツアー」。今年は、オロフレ峠を流れる“登別川”で沢登りをしました。この川、とても水がきれいで景色も素晴らしい。そして、人間の気配をまったく感じない、本当に最高の場所です。でも…いきものいんくの行事史上、一番ハードだったかな(笑)。往復約6キロの川&山道(ほぼ藪漕ぎ)。みんな本当によく頑張りました。



川の生きもののさがし

全3回 (7/8・7/22) 参加野生児52名 (小学1～6年生)

一番人気の川学習。ウェットスーツにライフジャケット、シュノーケルのフル装備で100%自然の川にドボン。魚類や水生昆虫の暮らしを通して、川が育む命のつながりについて学びました。これはプールや水族館では体験できません。川は身近で偉大な先生です。こんな素晴らしい先生に学ばない手はありません。



野生児キャンプ

全5回 (7/24・25・7/27・28・7/30・31・8/2・3・8/15・16)
参加野生児78名 (小学4～6年生)

いきものいんく設立以来のメインイベント、「野生児キャンプ」。5シーズン目の今年度は、総勢78名もの児童が参加してくれました。川にもぐり、森を歩き、朝から晩まで生きものを探しまくる24時間。身近な自然にどっぷり浸り、野生動物とじっくり向き合い、人間が引き起こす環境問題についてしっかり学びました。



※写真は、2016年度の冬キャンプの様子です。

冬の野生児キャンプ

全4回予定 (3/10・11・3/17・18・3/24・25・3/27・28)
参加予定野生児43名 (小学5年生～中学生)

スノーシューをはいて冬の徳舜瞥山(1,309m)に登り、雪の上にテントを張って一晩を過ごします。夜はマイナス10℃くらいまで冷え込む中で安全に快適に過ごすには…? 冬山の基本やさまざまな危険から身をまもる方法、雪がもたらす自然への影響などを学びます。夏には味わえないワクワク感と、無事朝を迎えた時の達成感はひとしおです。



いきものいんく写真展 ～2017 野生児の記録～
2/24～3/4

子どもたちが自然の中でいきぎと遊ぶ姿や、生きものと触れ合う姿を見てもらうことで、つながりの大切さや人間の暮らし方について多くの方に考えてもらえたら…。また、普段見られないお子さまの様子が少しでも保護者の方に伝わるといいな。そんな想いで昨年度から始めた、「いきものいんく写真展」。2回目の今回も、たくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。



秋の野生児キャンプ

全3回 (10/28・29・11/4・5・11/18・19)
参加野生児34名 (小学5年生～中学生)

秋といっても、もういつ雪がちらついてもおかしくないこの時期に…ゾーテントキャンプと夜間登山にチャレンジしました。木と葉っぱでそれぞれがシェルターを作り、そこで寝て、朝3時にたたき起こされ、真っ暗闇の中、ヘッドランプひとつで伊達紋別岳に登り、山頂でラーメンを食べる。標高715mの山頂には、うっすら雪が…。こんなクレイジーなキャンプを楽しんでくれる子どもたちは、正真正銘の野生児だと思います(笑)。



気ままにサケ学習

10/14 参加野生児31名 (幼児～大人)

命をかけたサケの産卵を通し、環境と環境のつながり、環境と生物のつながり、生物と生物のつながりについて学ぶサケ学習。使命をまっとうした無数のサケがあちこちに。これら全てが、新しい命を育む栄養となります。2017年9月の大型の台風により、いつも学習に使っている川の地形が大きく変わりました。環境の変化にも屈することなく生きるサケの姿には、本当に圧倒されました。



中学生キャンプ

全2回 (8/7・8・8/19・20) 参加野生児19名

「ワイルド」&「自由」がテーマの中学生キャンプ。大滝の徳舜瞥川で沢登りをし、100%自然の川原にテントを張り、お腹がすいたらご飯を食べ、眠たければ昼寝をし、自由気ままに川で泳ぐ…という泊2日を過ごしてもらいました。普段びっちり勉強をしている(であろう)中学生たち。思いっきり自由に羽を伸ばせたかな?



※写真は、京都府立海洋高等学校さま修学旅行の様子です。

学校授業

設立以来、いきものいんくの本線はあくまでも学校授業だと考えています。今年度は、総合的な学習の時間や理科の時間などを使い、計17校、180時間の学校授業を実施しました。また、小学5年生の宿泊学習のコーディネートや、中高生の修学旅行での環境学習もおこないました。



委託・連携事業

豊浦町より年間委託の「放課後子ども教室」運営のほか、「大滝キャンプフェスタ」や有珠山ロープウェイ夏祭りでの「夜の森探検」、北湘南サッカースクールやコンサドーレJrの合宿受入れなど、他団体から委託されたキャンプや環境学習事業が15件。今後もレクや研修などの受け入れを拡げていきたいと思っています。



※写真は、幼児教室の様子です。

体育教室

H27年度より、体育事業部として伊達市内で小学生4教室、幼児1教室の体育教室を主宰しています。約100名の登録児童が元気に身体を動かしています

いきものいんくの森づくり

花王株式会社様の助成金を活用し、いきものいんくの森再生プロジェクトを開始しました。約50年前に大量のトドマツが植林されて以来ぼったらし状態だった、“超不健康”ないきものいんくの森。1年目の今年度は、「森と馬の学習会」と題し、北海道科学大学の岡村元教授(森づくりのスペシャリスト)を迎え、森づくりの基礎を学ぶ学習会を開催しました。また、伐採した木を馬で運ぶ伝統技術「馬搬」の専門家である西竺氏に実演していただきました。10年後、20年後も子どもたちが安全に遊べる「健康な森」を、みんなの手で創っていきたいと考えています。



出演・出展イベント

講演

各所で、生物多様性や外来生物問題、環境教育の必要性などについての講演をさせていただきました。

- ・北海道市立大学 4月25日
- ・悠悠ライフ研修会 2月22日
- ・LOVE TOYA 9月3日
- ・NPO法人北のユニバーサル
- ・冬の自然勉強会 11月26日
- ・デザイン協議会 2月28日

出展

西いぶりファーマーズマーケット

室蘭市でおこなわれている「西いぶりファーマーズマーケット」に全3回、出展させていただきました。まわりのお店が野菜や果物やパンを売中、ヘビやトカゲを持ち込み、子どもたちがさわって学べるスペースを提供させていただきました。